

# 暮らしの広場



胃がん編

【18】明敏 工藤



変色する  
ことで簡  
単に確認  
できま  
す。組織  
切片を顕

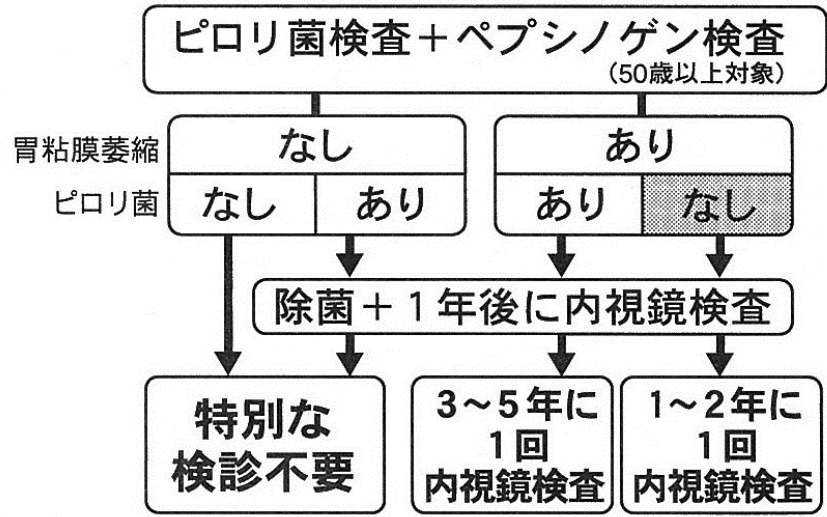
ピロリ菌に感染しているかどうかの検査には次の方法があります。  
①胃カメラで調べる検査には、迅速ウレアーゼ試験があります。ピロリ菌が存在する場合、胃カメラで採取した組織を試薬に入れると、試薬が

ピロリ菌2

## 胃がん撲滅計画

②採血で血清中のピロリ菌抗体量を測定します。ピロリ菌感染の有無の検査として最も一般的な方法です。  
③採血で血清中のピロリ菌抗体量を測定します。ピロリ菌感染の有無の検査として最も一般的な方法です。  
現在日本で認可されている除菌療法は、抗生剤2種と制酸剤3種の併用療法です。7日間服用します。  
その間、禁酒・禁煙が必要で、服用を途中で止めてはいけません。除菌率は8割程度と言われていますが、年齢・性により異なります。40歳まではほぼ全例が除菌されるのに対して、60歳以上の男性の除菌率は半数以下です。  
感染は胃液分泌が未成熟な

### ピロリ菌除菌表



胃粘膜の萎縮が強く、ピロリ菌が生息できない「群」(灰色)が胃がんのリスクが一番高い

幼児期で、成人では感染しませんが、従って除菌後に再感染することはまずありません。ピロリ菌感染結果を胃がんの早期発見につなげるには、

胃の萎縮が採血で分かるペプシンゲン検査とピロリ菌検査を組み合わせます。ピロリ菌に感染していても、胃の萎縮がない場合、除菌すれば胃がんになる可能性は低くなります。胃の萎縮があれば除菌した上で内視鏡検査が必要です。

萎縮が高度になるとかえってピロリ菌が減少し、見かけ上は感染なしと判定されます。しかしこのグループが一番胃がんになりやすいので、内視鏡検査が必要です。

ピロリ菌培養の成功エピソード 1983年オーストラリア人によって培養が成功しましたが、当初は失敗続きでした。ある時、実験助手が復活祭で休みを取り、通常は2~3日で終わらせる培養を5日間そのままにしました。休暇が終わると、培養ができていました。これがピロリ菌の発見につながり、ノーベル医学賞が授与されました。胃がんの多い日本で発見されたのではないのが残念ですね。  
(阿知須公立病院診療部長、外科部長)

第2火曜日に掲載